

広島修道大学のアドミッション・ポリシー（2020年度生用）

2020年度生用

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

広島修道大学は、「地球的視野を持って地域社会の発展に貢献できる人材」となることができる可能性を持った人を受け入れるため、以下の3点を学生受け入れの方針として明示します。

1. 入学者に求める能力

世界、日本及び地域社会に関心を持つ人、商業、経営、経済、情報、文化、言語、社会、教育、心理、健康、法律、国際政治、環境、地域行政等に関心を持つ人、スポーツ・文化活動・ボランティア活動に取り組む人、多様な人々と協創して課題を解決しようとする人を広く国内外から求めます。

2. 入学試験制度と評価

本学の各学科・専攻で学ぶために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力を見るために、(1)一般入学試験、(2)大学入試センター試験利用入学試験、

(3)一般・センター併用入学試験

を実施します。

上記の要素に加え、多様な人々と協創して学ぶ態度を見るために(4)AOインターアクション入学試験、(5)公募推薦入学試験、(6)指定校推薦入学試験・附属校推薦入学試験、(7)社会人入学試験、(8)帰国生入学試験、(9)外国人留学生入学試験、(10)編入学試験、学士入学試験などの入学試験を実施します。

合格判定にあたっては、大学入試センター試験、個別学力検査、調査書、面接、出願書類等を組み合わせて多面的・総合的に評価します。

3. 本学の教育を通じて養う能力

本学の教育目標を実現するために必要な知識と技能を習得し、課題発見・課題解決に取り組み、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力を持ち、多様な人々と協創して学びあう能力を身に付けた学生を育成します。

4. 本学の教育を通じて養う能力

表見力を見るために小論文(資料小論文)を出題します。面接では自己アピール、志望理由、高校生活などを含めてコミュニケーション能力を見ることで、学力の3要素全てを評価します。出願書類では、学力の3要素を、調査書、志望理由書、活動報告書によって評価します。

(5) 公募推薦入学試験では、学校長から推薦され、商学部入学を強く希望する学修意欲の高い生徒を選抜すべく、一定の評定平均値を条件に、所有する資格・検定試験等の成績・面接・出願書類・調査書等にもとづいて総合的に評価します。英語方式では、英語の個別学力試験で知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。集団面接、調査書、志望理由書では、学力の3要素を全て評価します。指定資格方式、英語資格方式では、資格・検定等の書類、志望理由書、調査書、個別面接によって学力の3要素を全て評価します。

(1) 一般入学試験では入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力試験と調査書によって総合的に評価します。一部日程では取得した英語資格も加味します。この入学試験では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて判定します。

(2) 大学入試センター試験利用入学試験では入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入試センター試験と調査書によって総合的に評価します。この入学試験では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて判定します。

(3) 一般・センター併用入学試験では入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力試験、大学入試センター試験および調査書にもとづいて、総合的に評価します。個別学力試験では、選択科目(地歴公民、数学等)に重点を置きます。この入学試験では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて判定します。

(4) AOインターアクション入学試験(活動実績重視方式・小論文重視方式)では、商学部入学を強く希望し、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、商学部で学ぶことの意義についてしっかりとした興味・関心を持っている生徒を選抜するために、個別学力試験として小論文(資料小論文)、面接、出題書類によって、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。個別学力検査では、学力の3要素のうち知識・技能、思考力・判断力・

表現力を見るために小論文(資料小論文)を出題します。面接では自己アピール、志望理由、高校生活などを含めてコミュニケーション能力を見ることで、学力の3要素全てを評価します。出願書類では、学力の3要素を、調査書、志望理由書、活動報告書によって評価します。

(5) 公募推薦入学試験では、学校長から推薦され、商学部入学を強く希望する学修意欲の高い生徒を選抜すべく、一定の評定平均値を条件に、所有する資格・検定試験等の成績・面接・出願書類・調査書等にもとづいて総合的に評価します。英語方式では、英語の個別学力試験で知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。集団面接、調査書、志望理由書では、学力の3要素を全て評価します。指定資格方式、英語資格方式では、資格・検定等の書類、志望理由書、調査書、個別面接によって学力の3要素を全て評価します。

(6) 指定校・附属校推薦入学試験では、商学部への進学実績をとまなう高校等を対象に、学校長が推薦し商学部入学を強く希望する生徒を選抜すべく、一定の評定平均値を条件に、面接・出願書類・調査書等にもとづいて学力の3要素を総合的に評価します。

(7) 帰国生入学試験は、AOインターアクション入学試験として実施します。

(8) 外国人留学生入学試験では、入学後の学修に必要な基礎学力を有している外国人留学生を選抜し、小論文、日本留学試験(日本語・総合科目)の成績、面接、出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に学力の3要素を評価します。

(9) 編入学試験、学士入学試験では、主に3年次からの修学に必要な学力を有する者を選抜すべく、英語・小論文・面接・出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に学力の3要素を評価します。

3. 商学部の教育を通じて養う能力

商学部の入学者には、カリキュラム・ポリシーにもとづく教育課程を通じてディプロマ・ポリシーで定める1.知識・技能、2.課題の発見と解決(思考力・判断力・表現力を持つようになること)、3.主体性と協創(主体性を持って、多様な人々と協創して学び合う態度)を養い、「地球的視野を持って地域社会の発展に貢献できる人材」を育成します。

4. 本学の教育を通じて養う能力

表見力を見るために小論文(資料小論文)を出題します。面接では自己アピール、志望理由、高校生活などを含めてコミュニケーション能力を見ることで、学力の3要素全てを評価します。出願書類では、学力の3要素を、調査書、志望理由書、活動報告書によって評価します。

(5) 公募推薦入学試験では、学校長から推薦され、商学部入学を強く希望する学修意欲の高い生徒を選抜すべく、一定の評定平均値を条件に、所有する資格・検定試験等の成績・面接・出願書類・調査書等にもとづいて総合的に評価します。英語方式では、英語の個別学力試験で知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。集団面接、調査書、志望理由書では、学力の3要素を全て評価します。指定資格方式、英語資格方式では、資格・検定等の書類、志望理由書、調査書、個別面接によって学力の3要素を全て評価します。

商学部 THE FACULTY OF COMMERCIAL SCIENCES

商学科は「地球的視野を持って地域社会の発展に貢献できる人材」となることができる可能性を持った人を受け入れるため、以下の3点を学生受け入れの方針として明示します。

1. 入学者に求める能力

商学科では、世界、日本および地域社会に関心を持つ人、商学、経営学に関心を持つ人、スポーツ・文化活動・ボランティア活動に取り組む人、多様な人々と協創して課題を解決しようとする人を広く国内外から求めます。基本的学力として、①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性を持って多様な人々と協創して学ぶ態度という学力の3要素を求めます。

2. 入学試験制度と評価

商学科は上記の基礎能力や資質を確かめるために、(1)一般入学試験、(2)大学入試センター試験利用入学試験、(3)一般・センター併用入学試験、(4)AOインターアクション入学試験、(5)公募推薦入学試験、(6)指定校推薦入学試験・附属校推薦入学試験、(7)帰国生入学試験、(8)外国人留学生入学試験、(9)編入学試験、学士入学試験を実施します。

(1) 一般入学試験では入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力試験と調査書によって総合的に評価します。一部日程では取得した英語資格も加味します。この入学試験では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて判定します。

(2) 大学入試センター試験利用入学試験では入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入試センター試験と調査書によって総合的に評価します。この入学試験では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて判定します。

(3) 一般・センター併用入学試験では入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力試験、大学入試センター試験および調査書にもとづいて、総合的に評価します。個別学力試験では、選択科目(地歴公民、数学等)に重点を置きます。この入学試験では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて判定します。

(4) AOインターアクション入学試験(活動実績重視方式・小論文重視方式)では、商学科入学を強く希望し、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、商学科で学ぶことの意義についてしっかりとした興味・関心を持って

商学部 THE FACULTY OF COMMERCIAL SCIENCES

1. 入学者に求める能力

経営学科では、世界、日本および地域社会に関心を持つ人、商学、経営学に関心を持つ人、スポーツ・文化活動・ボランティア活動に取り組む人、多様な人々と協創して課題を解決しようとする人を広く国内外から求めます。基本的学力として、①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性を持って多様な人々と協創して学ぶ態度という学力の3要素を求めます。

2. 入学試験制度と評価

経営学科は上記の基礎能力や資質を確かめるために、(1)一般入学試験、(2)大学入試センター試験利用入学試験、(3)一般・センター併用入学試験、(4)AOインターアクション入学試験、(5)公募推薦入学試験、(6)指定校推薦入学試験・附属校推薦入学試験、(7)帰国生入学試験、(8)外国人留学生入学試験、(9)編入学試験、学士入学試験を実施します。

(1) 一般入学試験では入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力試験と調査書によって総合的に評価します。一部日程では取得した英語資格も加味します。この入学試験では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて判定します。

(2) 大学入試センター試験利用入学試験では入学後に必要な基礎学力を有す

いる生徒を選抜するために、個別学力試験として小論文(資料小論文)、面接、出題書類によって、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。個別学力検査では、学力の3要素のうち知識・技能、思考力・判断力・表現力を見るために小論文(資料小論文)を出題します。面接では自己アピール、志望理由、高校生活などを含めてコミュニケーション能力を見ることで、学力の3要素全てを評価します。出願書類では、学力の3要素を、調査書、志望理由書、活動報告書によって評価します。

(5) 公募推薦入学試験では、学校長から推薦され、商学科入学を強く希望する学修意欲の高い生徒を選抜すべく、一定の評定平均値を条件に、所有する資格・検定試験等の成績・面接・出願書類・調査書等にもとづいて総合的に評価します。英語方式では、英語の個別学力試験で知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。集団面接、調査書、志望理由書では、学力の3要素を全て評価します。指定資格方式、英語資格方式では、資格・検定等の書類、志望理由書、調査書、個別面接によって学力の3要素を全て評価します。

(6) 指定校・附属校推薦入学試験では、商学科への進学実績をとまなう高校等を対象に、学校長が推薦し商学科入学を強く希望する生徒を選抜すべく、一定の評定平均値を条件に、面接・出願書類・調査書等にもとづいて学力の3要素を総合的に評価します。

(7) 帰国生入学試験は、AOインターアクション入学試験として実施します。

(8) 外国人留学生入学試験では、入学後の学修に必要な基礎学力を有している外国人留学生を選抜し、小論文、日本留学試験(日本語・総合科目)の成績、面接、出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に学力の3要素を評価します。

(9) 編入学試験、学士入学試験では、主に3年次からの修学に必要な学力を有する者を選抜すべく、英語・小論文・面接・出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に学力の3要素を評価します。

3. 商学科の教育を通じて養う能力

商学科の入学者には、カリキュラム・ポリシーにもとづく教育課程を通じてディプロマ・ポリシーで定める1.知識・技能、2.課題の発見と解決(思考力・判断力・表現力を持つようになること)、3.主体性と協創(主体性を持って、多様な人々と協創して学び合う態度)を養い、「地球的視野を持って地域社会の発展に貢献できる人材」を育成します。

4. 本学の教育を通じて養う能力

表見力を見るために小論文(資料小論文)を出題します。面接では自己アピール、志望理由、高校生活などを含めてコミュニケーション能力を見ることで、学力の3要素全てを評価します。出願書類では、学力の3要素を、調査書、志望理由書、活動報告書によって評価します。

(5) 公募推薦入学試験では、学校長から推薦され、商学科入学を強く希望する学修意欲の高い生徒を選抜すべく、一定の評定平均値を条件に、所有する資格・検定試験等の成績・面接・出願書類・調査書等にもとづいて総合的に評価します。英語方式では、英語の個別学力試験で知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。集団面接、調査書、志望理由書では、学力の3要素を全て評価します。指定資格方式、英語資格方式では、資格・検定等の書類、志望理由書、調査書、個別面接によって学力の3要素を全て評価します。

(6) 指定校・附属校推薦入学試験では、商学科への進学実績をとまなう高校等を対象に、学校長が推薦し商学部入学を強く希望する生徒を選抜すべく、一定の評定平均値を条件に、面接・出願書類・調査書等にもとづいて学力の3要素を総合的に評価します。

(7) 帰国生入学試験は、AOインターアクション入学試験として実施します。

(8) 外国人留学生入学試験では、入学後の学修に必要な基礎学力を有している外国人留学生を選抜し、小論文、日本留学試験(日本語・総合科目)の成績、面接、出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に学力の3要素を評価します。

- (5) 公募推薦入学試験では、学校長から推薦され、経営学科入学を強く希望する学修意欲の高い生徒を選抜すべく、一定の評定平均値を条件に、所有する資格・検定試験等の成績・面接・出願書類・調査書等にもとついて総合的に評価します。英語方式では、英語の個別学力試験で知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。集団面接、調査書、志望理由書では、学力の3要素を全て評価します。指定資格方式、英語資格方式では、資格・検定等の書類、志望理由書、調査書、個別面接によって学力の3要素を全て評価します。
- (6) 指定校・附属校推薦入学試験では、経営学科への進学実績をとまなう高校等を対象に、学校長が推薦し経営学科入学を強く希望する生徒を選抜すべく、一定の評定平均値を条件に、面接・出願書類・調査書等にもとついて学力の3要素を総合的に評価します。
- (7) 帰国生入学試験は、AOインターアクション入学試験として実施します。
- (8) 外国人留学生入学試験では、入学後の学修に必要な基礎学力を有している

外国人留学生を選抜し、小論文、日本留学試験(日本語・総合科目)の成績、面接、出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に学力の3要素を評価します。

人間関係学科 社会学専攻

1. 入学者に求める能力
- 人間関係学科社会学専攻は、高等学校卒業程度の学力、すなわち入学後に学士課程教育を受けるに必要な学力を有し、本学で学ぶ次のような人を広く国内外から受け入れます。

- (1) 社会における諸現象・諸問題に関心があり、自ら調査し、考えて、他者とコミュニケーションすることによって学ぼうとする人。
- (2) 豊かな人間性を培うために、広い視野を有し、多角的な社会的視角から実社会を理解しようと努める人。
- (3) 社会学の視角・方法・理論を修得しようとする人。
- (4) 将来に関して目標を持ち、自己の人生を切り開くライフ・デザイン能力を身につけようとする人。

2. 入学試験制度と評価

- (1) 一般入学試験では、個別学力検査にもとづく知識及び思考力などの評価に重点を置き、調査書の内容及び、一部日程では資格・検定試験などの成績を加味して総合的に評価し、入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有している学生を選抜します。
- (2) 大学入試センター試験利用入学試験では、大学入試センター試験の成績結果に重点を置き、調査書の内容を加味して、入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有している学生を選抜します。
- (3) 一般・センター併用入学試験では、一般入学試験の個別学力検査と大学入試センター試験の成績結果を重視し、調査書の内容を加味して総合的に評価し、入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有している学生を選抜します。
- (4) AOインターアクション入学試験では、本学人間関係学科社会学専攻への入学を強く希望し、社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有している学生を、主として個別学力検査に基づいて、面接、自己申告書、調査書の内容、高等学校などでの活動・経験などを加味して選抜します。個別学力検査では、英語を含めた資料読解力にもとづくプレゼンテーション方式を実施します。
- (5) 公募推薦入学試験では、本学人間関係学科社会学専攻での学修に意欲を持つ者で、社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有していると高等学校長などから推薦された者から、主として個別学力検査と面接にもとついて、自己申告書、調査書の内容、高等学校などでの活動・経験などを加味して学生を選抜します。個別学力検査では、英語を含めた資料読解力・理解力にもとづいた資料小論文方式を実施します。
- (6) 指定校推薦入学試験では、本学人間関係学科社会学専攻への入学を強く希望し、社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有していると高等学校長などから推

外国人留学生を選抜し、小論文、日本留学試験(日本語・総合科目)の成績、面接、出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に学力の3要素を評価します。

- (9) 編入学試験、学士入学試験では、主に3年次からの学修に必要な学力を有する者を選抜すべく、英語・小論文・面接・出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に学力の3要素を評価します。

3. 経営学科の教育を通じて養う能力

経営学科の入学者には、カリキュラム・ポリシーにもとづく教育課程を通じてディプロマ・ポリシーで定める1.知識・技能、2.課題の発見と解決(思考力・判断力・表現力を持つようになること)、3.主体性と協創(主体性を持って、多様な人々と協創して学び合う態度)を養い、「地球的視野を持って地域社会の発展に貢献できる人材」を育成します。

薦された者から、主として面接考査に基づいて、志望理由書、調査書の内容、高等学校などでの活動・経験などを加味して、学生を選抜します。

(7) 附属校入学試験では、入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有していると高等学校長などから推薦された者から、主として面接考査にもとついて、志望理由書、調査書の内容、高等学校などでの活動・経験などを加味して、学生を選抜します。

(8) 社会人入学試験では、社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有している学生を、個別学力検査にもとついて、面接、自己申告書、調査書の内容、社会人としての活動・経験などを加味して選抜します。個別学力検査では、英語を含めた資料読解力・理解力にもとづいた資料小論文方式を実施します。

(9) 帰国生入学試験では、本学人間関係学科社会学専攻への入学を強く希望し、社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有している学生を、主として個別学力検査にもとついて、面接、自己申告書、調査書の内容、高等学校などでの活動・経験などを加味して選抜します。個別学力検査では、英語を含めた資料読解力・理解力にもとづいた資料小論文方式を実施します。

(10) 外国人留学生入学試験では、入学後に社会学を修学する学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有している留学生を、日本留学試験(日本語・総合科目)の成績、面接、出願書類等を総合的に評価して、選抜します。

(11) 編入学試験、学士入学試験では、個別学力試験(英語・小論文)、面接、出願書類等を総合的に評価し、主に本学人間関係学科社会学専攻の第3学年次に修学するために必要な学力を有している編入学生、学士入学生を選抜します。

3. 人間関係学科社会学専攻の教育を通じて養う能力

人間関係学科社会学専攻の教育を通じて養う能力は、以下のような能力です。

- (1) 社会学の知識にもとづく視角・方法・理論の成り立ちと現代的展開を自ら学び考えることによって、実社会における現象や問題・課題について、社会的に理解・分析し、自身の考えを表現できる能力。
- (2) 修得した社会的知識に基づく視角・方法・理論をもって、自ら社会的な課題を発見し、社会問題の解決に取り組み、その成果を社会的に表現するために必要な社会的思考力・判断力・コミュニケーション能力。
- (3) 激しく変動していく現代社会において、自ら身につけた社会的知識を多様な科学や学問に照らしつつ、主体性を持って多様な人々と学びあう能力。

教育学科

1. 入学者に求める能力
- 教育学科の教育目的を理解し、「人間の発達と形成」について学ぶ意欲と学力を有する人を広く受け入れます。それ故、学士課程教育を受けるに必要な基礎的な知識・技能とともに、入学後の学修において必要な思考の柔軟性、判断力、表現力を持ち、主体的に多様な人々と協創して学ぶことのできる人を求めます。さらには、教育学科での学びの成果を生かして将来教育関係分野で活躍することを強く望む人を受け入れます。

2. 入学試験制度と評価

- (1) 一般入学試験では、個別学力検査にもとづく知識及び思考力等の評価に重点を置き、調査書にもとづく主体性等の評価及び資格検定試験等の成績(一部の日程のみ)を加味して総合的に評価します。
- (2) 大学入試センター試験利用入学試験では、大学入試センター試験にもとづく知識及び思考力等の評価に重点を置き、調査書にもとづく主体性等の評価を加味して総合的に評価します。
- (3) 一般・センター併用入学試験では、個別学力試験と大学入試センター試験にもとづく知識及び思考力等の評価に重点を置き、調査書にもとづく主体性等の評価を加味して総合的に評価します。
- (4) 公募推薦入学試験では、志望理由書にもとついて教育学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望することを確認します。資料小論文試験では、日本文、英文、資料データを読解・要約・分析し、それを論述していく力を問います。小論文試験の結果、面接での応答内容(出願書類の記載内容も含む)の結果をそれぞれ点数化し、教育学科が入学者に求める

英語英文学科

1. 入学者に求める能力
- 英語英文学科は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、言語や文化、とりわけ英語や英語圏の文化に強い関心と探究心があり、英語習得に必要な不可欠な努力を惜しまず、英語で他者と積極的に交流し、多様な価値観を持つ他者ととも問題の解決に当たる協創性を備えていることを重視します。英語英文学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性と協創」を有する人です。
- (1) 高等学校における英語・国語の教科に関する知識・技能を有する人。すなわち、英語圏の文学や英語学・応用言語学の文献読解、さらにこれをふまえた論述や口頭でのコミュニケーションを行うための基礎となる英語の音声・語彙・文法の知識及び「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の四技能に加え、伝達の内容に関して論理的に思考・判断・表現する際に基礎となる日本語能力を有する人。
- (2) 言語や文化に関わる問題に気づく観察力、その問題を解決するために文献を読解し、それをもとに考察し自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって説得的に示す表現力、及びこの問題解決プロセスに主体性をもって取り組む態度を有する人。
- (3) 多様な価値観を持つ他者に対する包容力を備え、主体性を持って共感的な人間関係を創造しながら、同時に自らの意図を明確に表明して相互理解を図る能力を有する人。

2. 入学試験制度と評価

英語英文学科は、下記の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性と協創」を評価し選抜します。

- (1) 一般入学試験：個別学力検査にもとづく知識及び思考力等の評価に重点を置き、調査書にもとづく主体性等の評価及び、一部日程では資格・検定試験等の評価を加味して総合的に評価します。

外国人留学生を選抜し、小論文、日本留学試験(日本語・総合科目)の成績、面接、出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に学力の3要素を評価します。

(5) 指定校推薦入学試験・附属校推薦入学試験では、志望理由書にもとついて教育学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望することを確認した上で、学校長からの推薦書、学校調査書にもとづいた面接を行い、教育学科が入学者に求める能力について総合的に評価します。

(6) 社会人入学試験では、資料小論文による学力検査、志望動機・理由及び社会人としての状況を記した自己申告書、調査書等の出願書類にもとづいて行う面接試験を通して、教育学科が入学者に求める能力について総合的に評価します。

(7) 外国人留学生入学試験では、日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接試験によって、知識、思考力、主体性及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価した上で、総合的に評価します。

(8) 編入学試験、学士入学試験では、英語、小論文、面接の試験科目を課して、教育学科第3学年次に修学するために必要な学力等を有しているかを総合的に評価します。

3. 教育学科の教育を通じて養成する人材像

ディプロマ・ポリシーに示された能力を備えた(1)社会の幅広い教育的ニーズに対応できる教育者、(2)個性的・自律的な教育者、(3)他者や環境に配慮できるコミュニケーション能力を備えた教育者、(4)生涯にわたって研究と修養に励むことのできる教育力を備えた教育者を養成します。なお、ここでいう「教育者」とは、保育所、幼稚園、小学校をはじめとした学校教員及び家庭、職場、地域社会にあって教育的な責任を果たす社会人のことを指しています。

英語英文学科

2. 大学入試センター試験利用入学試験：大学入試センター試験にもとづく知識及び思考力等の評価に重点を置き、調査書にもとづく主体性等の評価を加味して総合的に評価します。
- (3) 一般・センター併用入学試験：個別学力検査と大学入試センター試験にもとづく知識及び思考力等の評価に重点を置き、調査書にもとづく主体性等の評価を加味して総合的に評価します。
- (4) AOインターアクション入学試験：志望理由書にもとついて英語英文学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認した上で、英語力試験に基づいて基礎となる英語能力を評価します。さらに、面接試験にもとづいて、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性と協創」を評価します。英語力試験と面接試験の結果に重点を置き、調査書にもとづく知識等の評価を加味して総合的に評価します。
- (5) 指定校推薦入学試験・附属校推薦入学試験：志望理由書にもとづいて英語英文学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認した上で、面接試験にもとづいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び相互理解を図る能力を評価します。面接試験の結果に重点を置き、調査書、推薦書にもとづく知識及び思考力等の評価を加味して総合的に評価します。
- (6) 帰国生入学試験：志望理由書にもとづいて英語英文学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認した上で、英語力試験にもとづいて基礎となる英語能力を評価します。さらに、面接試験に基づいて、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性と協創」を評価します。英語力試験と面接試験の結果に重点を置き、調査書にもとづく知識等の評価を加味して総合的に評価します。
- (7) 外国人留学生入学試験：日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接試験によって、知識、思考力、主体性、及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価した上で、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価します。

- (8) 編入学試験、学士入学試験：英語に関する個別学力試験によって、主に第3学年次に修学するために必要な知識及び思考力を評価します。さらに面接試験によって主体性等を評価した上で、個別学力試験結果及び面接結果を同等の比重で評価します。

法学部

1. 入学者に求める能力
- 法律学科は、高等学校卒業程度の学力を有し、本学で学ぶ意欲を持つ次のような人を広く国内外から受け入れます。①社会問題に関心があり、自ら調べ、考え、意見を発信しようとする人、②公正な社会の実現に努める意欲を持っている人、③法的知識の獲得や法的な考え方の修得に努力する人、④法曹・公務員・企業人など、自己の将来の進路について明確な目標を持っている人。

2. 入学試験制度と評価

- (1) 一般入学試験では主に入学後の学修に必要な基礎学力を有している者を選抜し、個別学力検査、調査書の内容、資格・検定等の成績（一部の日程のみ）を加味して総合的に評価します。
- (2) 大学入試センター試験利用入学試験では、主に入学後の学修に必要な基礎学力を有している者を選抜し、大学入試センター試験の成績結果と調査書の内容によって総合的に判定します。
- (3) AOインターアクション入学試験では、本学への入学を強く希望し、高等学校等における正課活動および課外活動に積極的に取り組み、本学法学部法律学科で学ぶことの意義について明確な興味関心を持った者を選抜します。選抜においては、出身学校調査書（一定の評定平均値を満たす必要があります）、志望理由書、高等学校でのスポーツ活動実績、芸術・文化活動実績、個別学力検査等をもとにして、能力、意欲、適性等を多面的総合的に評価します。個別学力検査では、特定の課題に関するゼミナール（報告要旨、発言状況）、社会問題についての小論文等を実施します。
- (4) 公募推薦入学試験では、本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校等における正課活動および課外活動に積極的に取り組み、本学法学部法律学科で学ぶことの意義について明確な興味関心を持った者を選抜します。選抜においては、出身学校調査書（一定の評定平均値を満たす必要

経済科学部

1. 入学者に求める能力
- 経済科学部では、経済社会・情報社会に強い関心を持ち、これまでの学修経験を通じて、以下の基礎能力を有する人を求めます。物事を論理的に考察できる人、物事を科学的に考察できる人、学修に真摯かつ熱心に取り組むことのできる人、明朗快活にコミュニケーションをとることができる人。

2. 入学試験制度と評価方法

経済科学部は上記の基礎能力や資質を確かめるために、(1)一般入学試験、(2)大学入試センター試験利用入学試験、(3)一般・センター併用入学試験、(4)AOインターアクション入学試験、(5)公募推薦入学試験、(6)指定校推薦入学試験・附属校推薦入学試験、(7)帰国生入学試験、(8)外国人留学生入学試験、(9)編入学試験、学士入学試験などを実施します。

- (1) 一般入学試験では入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力試験に重点を置き、調査書を加味して総合的に評価しますが、一部日程では取得した英語資格も加味します。
- (2) 大学入試センター試験利用入学試験では入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入試センター試験に重点を置き、調査書を加味して総合的に評価します。
- (3) 一般・センター併用入学試験では入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選

3. 英語英文学科の教育を通じて養う能力
- 言語としての英語、および英語圏の文化の諸相に関する知識と、国際化を進める社会で活躍できる的確なコミュニケーション能力を身につけ、自らの課題とテーマを学問的に追求し、主体性をもって協創する能力を身につけます。

があります）、志望理由書、面接、個別学力検査等をもとにして、能力、意欲、適性等を多面的総合的に評価します。個別学力検査では、英語、資料小論文等を実施します。

- (5) 指定校推薦入学試験、附属校推薦入学試験では、本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校における正課活動および課外活動に積極的に取り組み、本学法学部法律学科で学ぶことの意義について明確な興味関心を持った者を選抜します。選抜においては、出身学校調査書（一定の評定平均値を満たす必要があります）、志望理由書、面接、個別学力検査等をもとにして、能力、意欲、適性等を多面的総合的に評価します。個別学力検査では、社会問題についての小論文、社会問題に関する3分間説明等を実施します。
- (6) 帰国生入学試験は、AOインターアクション入学試験として実施します。
- (7) 外国人留学生入学試験では、主に入学後の学修に必要な基礎学力を有している者を選抜します。選抜においては、個別学力検査、面接、出願書類、日本留学試験のスコア等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的総合的に評価します。個別学力検査では、資料小論文等を実施します。
- (8) 編入学試験、学士入学試験では、第3学年次に編入するために必要な基礎学力を有している者を選抜します。選抜においては、成績証明書、志望理由書、個別学力検査、面接等をもとにして、能力、意欲、適性等を多面的総合的に評価します。個別学力検査では、英語、資料小論文等を実施します。

3. 法律学科の教育を通じて養う能力

法律学科の教育目標を実現するために必要な法的知識と技能を修得し、法的課題の発見および解決に取り組む、その成果を表現するために必要な法的思考力・判断力・表現力等の能力を持ち、多様な人々と協創して学びあう能力を養います。

抜するために、個別学力試験および大学入試センター試験に重点を置き、調査書を加味して総合的に評価します。

- (4) AOインターアクション入学試験では、経済科学部入学を強く希望し、学修のみならず万事に真摯かつ熱心な生徒を選抜すべく、一定の評定平均値を条件に、講義理解力試験と面接・出願書類とを同等の比重で採点し、調査書等も加味して総合的に評価します。
- (5) 公募推薦入学試験では、学校長から推薦され経済科学部入学を強く希望する学修意欲の高い生徒を選抜すべく、一定の評定平均値を条件に、英語方式・小論文方式では個別試験と面接・出願書類とを同等の比重で採点し、調査書等も加味して総合的に評価します。また、指定資格方式・英語資格方式では面接・出願書類を特に重視して採点し、調査書等も加味して総合的に評価します。
- (6) 指定校推薦入学試験・附属校推薦入学試験では、学修実績をともなう高校等を対象とし、学校長が推薦し経済科学部入学を強く希望する生徒を選抜すべく、一定の評定平均値を条件に、面接・出願書類に重点を置き、調査書等も加味して総合的に評価します。
- (7) 帰国生入学試験では、経済科学部入学を強く希望し、学修のみならず万事に真摯かつ熱心な帰国生を選抜すべく、AOインターアクション入学試験と同じ方式で評価します。

- (8) 外国人留学生入学試験では入学後に必要な基礎学力および一定の日本語力を備えた外国人留学生を選抜するために、小論文および日本留学試験を同等の比重で評価し、さらに面接・出願書類等を加味して総合的に評価します。
- (9) 編入学試験、学士入学試験では、主に3年次からの修学に必要な学力を有する者を選抜すべく、個別学力試験に重点を置き、面接・出願書類等を加味して総合的に評価します。

経済科学部

1. 入学者に求める能力
- 現代経済学科では「経済社会・経済問題・経済現象等」に強い関心を持ち、これまでの学修経験を通じて、次の基礎能力を有する人を求めます。物事を論理的に考察できる人、物事を科学的に考察できる人、学修に真摯かつ熱心に取り組むことのできる人、明朗快活にコミュニケーションをとることができる人。

2. 入学試験制度と評価方法

- 現代経済学科は上記の基礎能力や資質を確かめるために、(1)一般入学試験、(2)大学入試センター試験利用入学試験、(3)一般・センター併用入学試験、(4)AOインターアクション入学試験、(5)公募推薦入学試験、(6)指定校推薦入学試験・附属校推薦入学試験、(7)帰国生入学試験、(8)外国人留学生入学試験、(9)編入学試験、学士入学試験などを実施します。
- (1) 一般入学試験では入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力試験に重点を置き、調査書を加味して総合的に評価しますが、一部日程では取得した英語資格も加味します。
- (2) 大学入試センター試験利用入学試験では入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入試センター試験に重点を置き、調査書を加味して総合的に評価します。
- (3) 一般・センター併用入学試験では入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力試験および大学入試センター試験に重点を置き、調査書を加味して総合的に評価します。
- (4) AOインターアクション入学試験では、現代経済学科入学を強く希望し、学修のみならず万事に真摯かつ熱心な生徒を選抜すべく、一定の評定平均値を条件に、講義理解力試験と面接・出願書類とを同等の比重で採点し、調査書等も加味して総合的に評価します。

経済科学部

1. 入学者に求める能力
- 経済情報学科では「情報社会・情報科学・システム科学等」に強い関心を持ち、これまでの学修経験を通じて、次の基礎能力を有する人を求めます。物事を論理的に考察できる人、物事を科学的に考察できる人、学修に真摯かつ熱心に取り組むことのできる人、明朗快活にコミュニケーションをとることができる人。

2. 入学試験制度と評価方法

経済情報学科は上記の基礎能力や資質を確かめるために、(1)一般入学試験、(2)大学入試センター試験利用入学試験、(3)一般・センター併用入学試験、(4)AOインターアクション入学試験、(5)公募推薦入学試験、(6)指定校推薦入学試験・附属校推薦入学試験、(7)帰国生入学試験、(8)外国人留学生入学試験、(9)編入学試験、学士入学試験などを実施します。

- (1) 一般入学試験では入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力試験に重点を置き、調査書を加味して総合的に評価しますが、一部日程では取得した英語資格も加味します。
- (2) 大学入試センター試験利用入学試験では入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入試センター試験に重点を置き、調査書を加

3. 経済科学部の教育を通じて養う能力
- 経済科学部の入学者には、カリキュラムポリシーにもとづく教育課程を通じ、ディプロマポリシーに定めるところの①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③多様な人々と協創する姿勢を涵養し、「現代の経済社会・情報社会に求められる高度な知識と技術を有する人材」として養成します。

味して総合的に評価します。

- (5) 公募推薦入学試験では、学校長から推薦され現代経済学科入学を強く希望する学修意欲の高い生徒を選抜すべく、一定の評定平均値を条件に、英語方式・小論文方式では個別試験と面接・出願書類とを同等の比重で採点し、調査書等も加味して総合的に評価します。また、指定資格方式・英語資格方式では面接・出願書類を特に重視して採点し、調査書等も加味して総合的に評価します。
- (6) 指定校推薦入学試験・附属校推薦入学試験では、学修実績をともなう高校等を対象とし、学校長が推薦し現代経済学科入学を強く希望する生徒を選抜すべく、一定の評定平均値を条件に、面接・出願書類に重点を置き、調査書等も加味して総合的に評価します。
- (7) 帰国生入学試験では、経済科学部入学を強く希望し、学修のみならず万事に真摯かつ熱心な帰国生を選抜すべく、AOインターアクション入学試験と同じ方式で評価します。
- (8) 外国人留学生入学試験では入学後に必要な基礎学力および一定の日本語力を備えた外国人留学生を選抜するために、小論文および日本留学試験を同等の比重で評価し、さらに面接・出願書類等を加味して総合的に評価します。
- (9) 編入学試験、学士入学試験では、主に3年次からの修学に必要な学力を有する者を選抜すべく、個別学力試験に重点を置き、面接・出願書類等を加味して総合的に評価します。

3. 現代経済学科の教育を通じて養う能力

現代経済学科の入学者には、カリキュラムポリシーにもとづく教育課程を通じ、ディプロマポリシーに定めるところの①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③多様な人々と協創する姿勢を涵養し、「現代の経済社会・情報社会に求められる高度な知識と技術を有する人材」として養成します。

(7) 帰国生入学試験では、経済情報学科入学を強く希望し、学修のみならず事に真摯かつ熱心な帰国生を選抜すべく、AOインターアクション入学試験と同じ方式で評価します。

(8) 外国人留学生入学試験では入学後に必要な基礎学力および一定の日本語力を備えた外国人留学生を選抜するために、小論文および日本留学試験を同等の比重で評価し、さらに面接・出願書類等を加味して総合的に評価します。

(9) 編入学試験、学士入学試験では、主に3年次からの修学に必要な学力を有

する者を選抜すべく、個別学力試験に重点を置き、面接・出願書類等を加味して総合的に評価します。

人間環境学部 人間環境学科

1. 入学者に求める能力

人間環境学部では、現代の環境問題について広く関心を持ち、その解決に向けて主体的に学習・行動し、持続可能な社会の構築に資する意欲を持つ人材を広く国内外から受け入れます。学部の教育目標を達成するための基礎能力として、高等学校卒業相当の学力(知識・技能、思考力・判断力・表現力)と人間環境学を学ぶ意欲・関心・態度を持っていることを求めます。

2. 入学試験制度と評価方法

人間環境学部は、上記の基礎能力や資質を確かめるために、(1)一般入学試験、(2)大学入試センター試験利用入学試験、(3)一般・センター併用入学試験、(4)AOインターアクション入学試験、(5)公募推薦入学試験、(6)指定校推薦入学試験・附属校推薦入学試験、(7)社会人入学試験、(8)帰国生入学試験、(9)外国人留学生入学試験、(10)編入学試験、学士入学試験を実施します。

(1) 一般入学試験では、主に入学後の修学に必要な基礎学力を有している生徒を選抜します。個別学力検査、調査書の内容、および資格・検定試験等の成績を加味して総合的に評価します。

(2) 大学入試センター試験利用入学試験では、主に入学後の修学に必要な基礎学力を有している生徒を選抜します。大学入試センター試験の成績と調査書の内容によって総合的に評価します。

(3) 一般・センター併用入学試験では、主に入学後の修学に必要な基礎学力を有している生徒を選抜します。一般入学試験の個別学力検査と大学入試センター試験の成績、および調査書の内容によって総合的に評価します。

(4) AOインターアクション入学試験では、本学への入学を強く希望し、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、本学部・学科で学ぶことの意義についてしっかりとした興味・関心を持っている生徒を選抜します。人間環境学部が希望する生徒は、(a)私たちの社会と多様な環境問題の関わりについて地球全体の視点から強い関心を持ち、それらと自分とのつながりをイメージして自ら積極的に行動しようと考えている人、(b)基本的思考力ならびに他者の考えを理解する力、自らの考えを表現する力を有し、これらを高めようと考えている人、です。実施の方式には、レポート方式、プレゼンテーション方式があります。レポート方式では、テーマに関する報告書、テーマに関連する知識を問う筆記試験、レポートに関する質疑応答審査、調査書の内容等(高等学校での評定平均値を満たす必要があります)を組み合わせて、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。プレゼンテーション方式では、テーマに関するプレゼンテーション審査、テーマに関連する知識を問う筆記試験、志望理由書、調査書の内容等(高等学校での評定平均値を満たす必要があります)を組み合わせて、能力・意欲・適正等を多面的・総合的に評価します。

する者を選抜すべく、個別学力試験に重点を置き、面接・出願書類等を加味して総合的に評価します。

3. 経済情報学科の教育を通じて養う能力

経済情報学科の入学者には、カリキュラムポリシーにもとづく教育課程を通じ、ディプロマポリシーに定めるところの①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③多様な人々と協創する姿勢を涵養し、「現代の経済社会・情報社会に求められる高度な知識と技術を有する人材」として養成します。

4. 国際文化学科の教育を通じて養う能力

5. 健康科学部

(5) 公募推薦入学試験では、本学での学修に意欲を持つ者で、学校長から推薦され、本学部・学科で学ぶことの意義についてしっかりとした興味・関心を持っている生徒を選抜します。人間環境学部が希望する生徒は、高等学校等での正課・課外活動や、地域の組織などにおける社会的活動に積極的または主体的に取り組み、自らを高めようと考えている人です。実施の方式は、活動実績方式(専願)と英語資格方式(併願)です。活動実績方式(専願)では、活動報告書、面接、高等学校等での活動実績、所有する資格・検定試験の成績、志望理由書、調査書の内容等(高等学校での評定平均値を満たす必要があります)を組み合わせて、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。英語資格方式(併願)では、英語資格・検定試験の成績、志望理由書、調査書の内容(高等学校での評定平均値を満たす必要があります)、面接等を組み合わせて、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。

(6) 指定校推薦入学試験・附属校推薦入学試験では、本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、本学部・学科で学ぶことの意義についてしっかりとした興味・関心を持っている生徒を選抜します。面接、調査書の内容(高等学校での評定平均値を満たす必要があります)、志望理由書等を組み合わせて、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。

(7) 社会人入学試験では、主に入学後の修学に必要な基礎学力を有している社会人を選抜します。小論文(資料小論文)、面接、調査書の内容、出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。

(8) 帰国生入学試験では、主に入学後の修学に必要な基礎学力・意欲・適性等を有している帰国生を選抜します。実施は、AOインターアクション入学試験と同じ方式(レポート方式、プレゼンテーション方式)で行います。

(9) 外国人留学生入学試験では、主に入学後の修学に必要な基礎学力を有している外国人留学生を選抜します。小論文(資料小論文)、日本留学試験(日本語)の成績、面接、出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。

(10) 編入学試験、学士入学試験では、主に第3学年次に修学するために必要な基礎学力を有している編入学生、学士入学生を選抜します。英語、小論文(資料小論文)、面接、出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。

3. 人間環境学部の教育を通じて養う能力

人間環境学部は、カリキュラム・ポリシーにもとづく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーが定めるところの①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体的・協働的態度を涵養し、環境を統合した社会経済システムを牽引し、環境負荷の少ないライフスタイルを実践できる「環境人」を養成します。

健康科学部

1. 入学者に求める能力

健康科学部では、学力の3要素(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)を持った人を求めます。すなわち、学士課程教育を受けるに必要な基礎知識・技能と共に、入学後の学修において必要な、思考の柔軟性、創造力、主体性を持った問題発見能力・問題解決能力、及び倫理性を持ち、多様な価値観を持つ他者と協働して学ぶことができる人を求めます。

2. 入学試験制度と評価
健康科学部は、上記の学力・能力等を多様な入学試験制度により学科ごとに評価し選抜します。

健康科学部 心理学科

1. 入学者に求める能力

心理学科では、学士課程教育を受けるに必要な基礎知識・技能と共に、入学後の学修において必要な、思考の柔軟性、創造力、主体性を持った問題発見能力・問題解決能力、及び倫理性を持ち、多様な価値観を持つ他者と協働して「こころの健康」に関して学ぶことができる人を求めます。

2. 入学試験制度と評価

心理学科は、上記の学力・能力等を次の入学試験制度により評価し選抜します。

(1) 一般入学試験：個別学力検査にもとづく知識及び思考力等の評価に重点を置き、調査書にもとづく主体性等の評価及び一部日程では資格・検定試験等の成績を加味して総合的に評価します。

(2) 大学入試センター試験利用入学試験：大学入試センター試験にもとづく知識及び思考力等の評価に重点を置き、調査書にもとづく主体性等の評価を加味して総合的に評価します。

(3) 一般・センター併用入学試験：個別学力検査と大学入試センター試験にもとづく知識及び思考力等の評価に重点を置き、調査書にもとづく主体性等の評価を加味して総合的に評価します。

(4) AOインターアクション入学試験：志望理由書にもとづいて心理学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認します。その上で、集団活動試験にもとづいて、問題解決のための柔軟な思考力・情報収集力、問題解決の成果を定量的に分析する能力と判断力、分析結果を論理的な文章と適切な図表とによって説得的に示す表現力、及びこの問題解決プロセスに主体性を持って他者と共に取り組み協働性を評価します。集団活動試験の結果に重点を置き、調査書にもとづく知識等の評価を加味して総合的に評価します。

(5) 指定校推薦入学試験・附属校推薦入学試験：志望理由書にもとづいて心理学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望している

健康科学部 健康栄養学科

1. 入学者に求める能力

健康栄養学科では、学士課程教育を受けるに必要な基礎知識・技能と共に、入学後の学修において必要な、思考の柔軟性、創造力、主体性を持った問題発見能力・問題解決能力、及び倫理性を持ち、多様な価値観を持つ他者と協働して「からだの健康」に関して学ぶことができる人を求めます。

2. 入学試験制度と評価

(1) 一般入学試験：個別学力検査にもとづく知識及び思考力等の評価に重点を置き、調査書にもとづく主体性等の評価及び一部日程では資格・検定試験等の成績を加味して総合的に評価します。

(2) 大学入試センター試験利用入学試験：大学入試センター試験にもとづく知識及び思考力等の評価に重点を置き、調査書にもとづく主体性等の評価を

2. 入学試験制度と評価

健康科学部は、上記の学力・能力等を多様な入学試験制度により学科ごとに評価し選抜します。

3. 健康科学部の教育を通じて養う能力

健康科学部では、人間の「こころ」と「からだ」の心理学的・生理学的・生物学的機構と機能について科学的に探究し、健康の回復・保持・増進に向けて問題の解決に当たることのできる能力を身につけます。

4. 国際文化学科の教育を通じて養う能力

5. 健康科学部の教育を通じて養う能力

健康科学部では、上記の学力・能力等を多様な入学試験制度により学科ごとに評価し選抜します。面接試験の結果に重点を置き、志望理由書と推薦書にもとづく知識及び思考力等の評価を加味して総合的に評価します。

(6) 公募推薦入学試験：志望理由書にもとづいて健康科学部で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認します。その上で、小論文形式による個別学力検査にもとづいて、知識、思考力、身の周りの日常的な問題に気づく観察力、問題解決の成果を分析する能力と判断力、及び分析結果を論理的な文章によって説得的に示す表現力を評価します。さらに、集団面接試験、志望理由書、及び推薦書等によって、高等学校等での正課・課外活動への主体性を持った取り組み、及び多様な価値観を持つ他者に対する包容力と協働性等を評価した上で、個別学力検査結果と面接結果を同等の比重で評価します。

(7) 外国人留学生入学試験：日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに、志望理由書にもとづいて心理学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認した上で、面接試験によって知識、思考力、主体性、協働性、及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価した上で、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価します。

(8) 編入学試験、学士入学試験：英語、小論文、面接の試験科目を課して、心理学科第3年次に入学するために必要な学力等を有しているかを総合的に評価します。(2020年度は実施しない。)

6. 健康科学部の教育を通じて養う能力

心理学科では、人間の「こころ」の心理学的・生理学的機構と機能について科学的に探究し、「こころの健康」の回復・保持・増進に向けて問題の解決に当たることのできる能力を身につけます。

7. 健康科学部の教育を通じて養う能力

健康科学部では、上記の学力・能力等を多様な入学試験制度により学科ごとに評価し選抜します。

(3) 一般・センター併用入学試験：個別学力検査と大学入試センター試験にもとづく知識及び思考力等の評価に重点を置き、調査書にもとづく主体性等の評価を加味して総合的に評価します。

(4) AOインターアクション入学試験：志望理由書にもとづいて健康栄養学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認します。その上で、集団活動試験にもとづいて、問題解決のための柔軟な思考力・情報収集力、問題解決の成果を定量的に分析する能力と判断力、分析結果を論理的な文章と適切な図表とによって説得的に示す表現力、及びこの問題解決プロセスに主体性を持って他者と共に取り組み協働性を評価します。集団活動試験の結果に重点を置き、調査書にもとづく知識等の評価を加味して総合的に評価します。

- (5) 指定校推薦入学試験・附属校推薦入学試験：志望理由書にもとづいて健康栄養学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認した上で、面接試験にもとづいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び協働性を評価します。面接試験の結果に重点を置き、志望理由書と推薦書にもとづく知識及び思考力等の評価を加味して総合的に評価します。
- (6) 公募推薦入学試験：志望理由書にもとづいて健康科学部で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認します。その上で、小論文形式による個別学力検査にもとづいて、知識、思考力、身の周りの日常的な問題に気づく観察力、問題解決の成果を分析する能力と判断力、及び分析結果を論理的な文章によって説得的に示す表現力を評価します。さらに、集団面接試験、志望理由書、及び推薦書等によって、高等学校等での正課・課外活動への主体性を持った取り組み、及び多様な価値観を持つ

他者に対する包容力と協働性等を評価した上で、個別学力検査結果と面接結果を同等の比重で評価します。

(7) 外国人留学生入学試験：日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに、志望理由書にもとづいて健康栄養学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認した上で、面接試験によって知識、思考力、主体性、協働性、及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価した上で、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価します。

3. 健康栄養学科の教育を通じて養う能力

健康栄養学科では、人間の「からだ」の生理学的・生物学的機構と機能について科学的に探究し、管理栄養士として「からだの健康」の回復・保持・増進に向けて問題の解決に当たることのできる能力を身につけます。

(4) 相互理解と協力関係の形成に向けて多様な人々とコミュニケーションをとり、協働しようとする人

2. 入学試験制度と評価

国際コミュニティ学部で学ぶために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力を見るために、各学科で多様な入学試験を実施し、選抜します。

3. 国際コミュニティ学部の教育を通じて養う能力
- 国際コミュニティ学部の教育目標を実現するために必要な知識と技能を習得し、課題発見・課題解決に取り組み、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力を持ち、多様な人々と協創して学びあう能力を身につけた学生を育成します。
- (1) 現代社会における諸問題に関心や疑問を持ち、その解決に向けて取り組もうとする人
- (2) 地域社会の持続的発展や平和な国際社会の実現のために積極的に貢献しようとする人
- (3) 地域社会や国際社会における多様性やダイナミズムに関心を持つ人

4. 国際コミュニティ学部の教育を通じて養う能力

国際コミュニティ学部は、高等学校卒業程度の学力を有し、本学で学ぶ意欲を持つ次のような人を広く国内外から受け入れます。

1. 入学者に求める能力

国際コミュニティ学部は、Think Globally, Act Locallyを念頭に、地域社会と国際社会における多様性とダイナミズムを理解できる思考力と知性を身につけ、良識と教養ある判断力を備えた市民となることができる人を受け入れるため、学生の受入方針を以下の通り定めます。

- (1) 国際社会の出来事や問題に関心がある人
- (2) 多言語多文化社会において、文化や生活環境の違いを理解し、協働しようとする人
- (3) 社会に対する広い視野を持って自分の目的を実現するために自発的・意欲的に学び、努力する人
- (4) 日本を含む世界のさまざまな問題についてみずから調べ、考え、意見を発信しようとする人

2. 入学試験制度と評価

国際政治学科は、高等学校卒業程度の学力を有し、本学で学ぶ意欲を持つ次のような人を広く国内外から受け入れます。

- (1) 一般入学試験では主に入学後の学修に必要な基礎学力を有している者を選抜し、個別学力検査、調査書の内容、資格・検定等の成績（一部の日程のみ）を加味して総合的に評価します。
- (2) 大学入試センター試験利用入学試験では、主に入学後の学修に必要な基礎学力を有している者を選抜し、大学入試センター試験の成績結果と調査書の内容によって総合的に判定します。

- (3) 一般・センター併用入学試験では、主に入学後の学修に必要な基礎学力を有している者を選抜し、一般入学試験（前期日程）と大学入試センター試験の成績結果と調査書の内容によって総合的に判定します。
- (4) AOインターアクション入学試験では、本学への入学を強く希望し、高等学校等における正課活動および課外活動に積極的に取り組み、国際政治学科で学ぶことの意義について明確な興味関心を持った者を選抜します。選抜においては、出身学校調査書、志望理由書等の出願書類、個別学力検査、面接等をもとにして、能力、意欲、適性等を多面的総合的に評価します。個別学力検査では、課題図書に関する小論文を実施します。
- (5) 公募推薦入学試験では、本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校等における正課活動および課外活動、指定資格に積極的に取り組み、国際政治学科で学ぶことの意義について明確な興味関心を持った者を選抜します。選抜においては、出身学校調査書（一定の評定平均値を満たす必要があります）、志望理由書、面接、資格に関する証明書、個別学力検査等をもとにして、能力、意欲、適性等を多面的総合的に評価します。個別学力検査では、英語、課題映像に関する小論文等を実施します。

他者に対する包容力と協働性等を評価した上で、個別学力検査結果と面接結果を同等の比重で評価します。

- (7) 外国人留学生入学試験：日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに、志望理由書にもとづいて健康栄養学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認した上で、面接試験によって知識、思考力、主体性、協働性、及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価した上で、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価します。

3. 健康栄養学科の教育を通じて養う能力

健康栄養学科では、人間の「からだ」の生理学的・生物学的機構と機能について科学的に探究し、管理栄養士として「からだの健康」の回復・保持・増進に向けて問題の解決に当たることのできる能力を身につけます。

(4) 相互理解と協力関係の形成に向けて多様な人々とコミュニケーションをとり、協働しようとする人

2. 入学試験制度と評価

国際コミュニティ学部で学ぶために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力を見るために、各学科で多様な入学試験を実施し、選抜します。

3. 国際コミュニティ学部の教育を通じて養う能力

国際コミュニティ学部の教育目標を実現するために必要な知識と技能を習得し、課題発見・課題解決に取り組み、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力を持ち、多様な人々と協創して学びあう能力を身につけた学生を育成します。

- (3) 一般・センター併用入学試験では、主に入学後の学修に必要な基礎学力を有している者を選抜し、一般入学試験（前期日程）と大学入試センター試験の成績結果と調査書の内容によって総合的に判定します。
- (4) AOインターアクション入学試験では、本学への入学を強く希望し、高等学校等における正課活動および課外活動に積極的に取り組み、国際政治学科で学ぶことの意義について明確な興味関心を持った者を選抜します。選抜においては、出身学校調査書、志望理由書等の出願書類、個別学力検査、面接等をもとにして、能力、意欲、適性等を多面的総合的に評価します。個別学力検査では、課題図書に関する小論文を実施します。

- (5) 公募推薦入学試験では、本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校等における正課活動および課外活動、指定資格に積極的に取り組み、国際政治学科で学ぶことの意義について明確な興味関心を持った者を選抜します。選抜においては、出身学校調査書（一定の評定平均値を満たす必要があります）、志望理由書、面接、資格に関する証明書、個別学力検査等をもとにして、能力、意欲、適性等を多面的総合的に評価します。個別学力検査では、英語、課題映像に関する小論文等を実施します。

- (7) 帰国生入学試験は、AOインターアクション入学試験として実施します。
- (8) 外国人留学生入学試験では、主に入学後の学修に必要な基礎学力を有している者を選抜します。選抜においては、個別学力検査、面接、出願書類、日本留学試験のスコア等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的総合的に評価します。個別学力検査では、資料小論文等を実施します。
- (9) 編入学試験、学士入学試験では、第3学年次に編入するために必要な基礎学力を有している者を選抜します。選抜においては、成績証明書、志望理由書、個別学力検査、面接等をもとにして、能力、意欲、適性等を多面的総合的に評価します。個別学力検査では、英語および論述（時事問題）を実施します。（2020年度は実施しない。）

3. 地域行政学科の教育を通じて養う能力
- 地域行政学科は、高等学校卒業程度の学力を有し、本学で学ぶ意欲を持つ次のような人を広く国内外から受け入れます。
- (1) 地域社会の出来事や問題に関心がある人
- (2) 地域社会において、多様な人々の意見の違いを理解し、協働しようとする人
- (3) 社会に対する広い視野を持って自分の目的を実現するために自発的・意欲的に学び、努力する人
- (4) 地域におけるさまざまな問題についてみずから調べ、考え、意見を発信しようとする人

2. 入学試験制度と評価
- 国際コミュニティ学部は、高等学校卒業程度の学力を有し、本学で学ぶ意欲を持つ次のような人を広く国内外から受け入れます。
- (1) 現代社会における諸問題に関心や疑問を持ち、その解決に向けて取り組もうとする人
- (2) 地域社会の持続的発展や平和な国際社会の実現のために積極的に貢献しようとする人
- (3) 地域社会や国際社会における多様性やダイナミズムに関心を持つ人

- (7) 帰国生入学試験は、AOインターアクション入学試験として実施します。
- (8) 外国人留学生入学試験では、主に入学後の学修に必要な基礎学力を有している者を選抜します。選抜においては、個別学力検査、面接、出願書類、日本留学試験のスコア等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的総合的に評価します。個別学力検査では、資料小論文等を実施します。
- (9) 編入学試験、学士入学試験では、第3学年次に編入するために必要な基礎学力を有している者を選抜します。選抜においては、成績証明書、志望理由書、個別学力検査、面接等をもとにして、能力、意欲、適性等を多面的総合的に評価します。個別学力検査では、英語および論述（時事問題）を実施します。（2020年度は実施しない。）

3. 国際政治学科の教育を通じて養う能力

国際政治学科の教育目標を実現するために必要な国際政治に関する知識と技能を習得し、国際政治の課題の発見および解決に取り組み、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力を持ち、多様な人々と協創して学びあう能力を養います。

1. 入学者に求める能力
- 地域行政学科は、高等学校卒業程度の学力を有し、本学で学ぶ意欲を持つ次のような人を広く国内外から受け入れます。
- (1) 地域社会の出来事や問題に関心がある人
- (2) 地域社会において、多様な人々の意見の違いを理解し、協働しようとする人
- (3) 社会に対する広い視野を持って自分の目的を実現するために自発的・意欲的に学び、努力する人
- (4) 地域におけるさまざまな問題についてみずから調べ、考え、意見を発信しようとする人

2. 入学試験制度と評価

国際コミュニティ学部は、高等学校卒業程度の学力を有し、本学で学ぶ意欲を持つ次のような人を広く国内外から受け入れます。

- (1) 一般入学試験では主に入学後の学修に必要な基礎学力を有している者を選抜し、個別学力検査、調査書の内容、資格・検定等の成績（一部の日程のみ）を加味して総合的に評価します。
- (2) 大学入試センター試験利用入学試験では、主に入学後の学修に必要な基礎学力を有している者を選抜し、大学入試センター試験の成績結果と調査書の内容によって総合的に判定します。
- (3) 一般・センター併用入学試験では、主に入学後の学修に必要な基礎学力を有している者を選抜し、一般入学試験（前期日程）と大学入試センター試験の成績結果と調査書の内容によって総合的に判定します。
- (4) AOインターアクション入学試験では、本学への入学を強く希望し、高等学校等における正課活動および課外活動に積極的に取り組み、地域行政学科で学ぶことの意義について明確な興味関心を持った者を選抜します。選抜においては、出身学校調査書、志望理由書等の出願書類、個別学力検査、面接等をもとにして、能力、意欲、適性等を多面的総合的に評価します。個別学力検査では、課題図書に関する小論文を実施します。
- (5) 公募推薦入学試験では、本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校等における正課活動および課外活動、指定資格に積極的に取り組み、地域行政学科で学ぶことの意義について明確な興味関心を持った者を選抜します。選抜においては、出身学校調査書、志望理由書等の出願書類、個別学力検査、面接等をもとにして、能力、意欲、適性等を多面的総合的に評価します。個別学力検査では、英語、課題映像に関する小論文等を実施します。

に評価します。個別学力検査では、英語および論述（時事問題）を実施します。（2020年度は実施しない。）

3. 国際政治学科の教育を通じて養う能力
- 国際政治学科の教育目標を実現するために必要な国際政治に関する知識と技能を習得し、国際政治の課題の発見および解決に取り組み、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力を持ち、多様な人々と協創して学びあう能力を養います。

3. 地域行政学科の教育を通じて養う能力

地域行政学科で学ぶことの意義について明確な興味関心を持った者を選抜します。選抜においては、出身学校調査書（一定の評定平均値を満たす必要があります）、志望理由書、面接、資格に関する証明書、個別学力検査等をもとにして、能力、意欲、適性等を多面的総合的に評価します。個別学力検査では、英語、課題映像に関する小論文等を実施します。

- (6) 指定校推薦入学試験、附属校推薦入学試験では、本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校における正課活動および課外活動に積極的に取り組み、地域行政学科で学ぶことの意義について明確な興味関心を持った者を選抜します。選抜においては、出身学校調査書（一定の評定平均値を満たす必要があります）、志望理由書、面接等をもとにして、能力、意欲、適性等を多面的総合的に評価します。

- (7) 帰国生入学試験は、AOインターアクション入学試験として実施します。
- (8) 外国人留学生入学試験では、主に入学後の学修に必要な基礎学力を有している者を選抜します。選抜においては、個別学力検査、面接、出願書類、日本留学試験のスコア等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的総合的に評価します。個別学力検査では、資料小論文等を実施します。

- (9) 編入学試験、学士入学試験では、第3学年次に編入するために必要な基礎学力を有している者を選抜します。選抜においては、成績証明書、志望理由書、個別学力検査、面接等をもとにして、能力、意欲、適性等を多面的総合的に評価します。個別学力検査では、英語および論述（時事問題）を実施します。（2020年度は実施しない。）

3. 地域行政学科の教育を通じて養う能力
- 地域行政学科の教育目標を実現するために必要な地域行政に関する知識と技能を習得し、地域行政の課題の発見および解決に取り組み、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力を持ち、多様な人々と協創して学びあう能力を養います。